

南スーダン選手団のこれまでの軌跡

2019 年

11 月 ●南スーダン選手団が来日

●練習開始



●日本語学校に入学



12 月 ●敷島小を訪問

児童たちと一緒に給食を食べたり、走ったりしました。

2020 年

1 月 ●亀泉町新春親子そろって餅つき大会 2020 と西片貝町各種団体新年互例会に参加



地域住民の人たちと交流しました。

●初めての書き初めと初詣



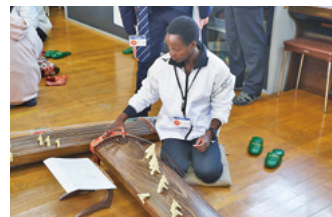
東京 2020 オリンピック・パラリンピックの飛躍などを願いました。

2 月 ●桃瀬幼稚園を訪問



園児たちと一緒に走ったりレクリエーションを楽しんだりしました。

●大室小と総社小を訪問



大室小では初めて琴を演奏。貴重な体験となりました。

8 月 ●U15 ジュニア陸上教室に参加
前橋市陸上競技協会が主催の陸上教室に参加して、子どもたちとスポーツを通じた交流をしました。



9 月 ●荒砥中運動会と春日中体育大会に参加
10 月 いろいろな競技に参加してスポーツを通じた交流をしました。

2021 年

1 月 ●上泉町どんと焼きに参加
日本の伝統行事を体験するとともに、地域住民と交流しました。

●市立前橋高で開催した「めぶけ! グローバルな高校生へ」に参加

3 月 ●市立前橋高で交流会に参加
生徒たちが英語で選手に質問などをして、コミュニケーションを図りました。



6 月 ●新型コロナワクチン接種
余剰ワクチンを活用して新型コロナワクチンを接種しました。



このほかにも、たくさんの市民と交流をしてきました。



オミロク・ジョセフ・レンシオ・トビア/コーチ

グエム・アブラハム・マジュック・マテット/
1,500 m

クティヤン・マイケル・マチーク・ティン/
パラリンピック 100 m

モリス・ルシア・ウィリアム・カルロ/
100 m・200 m

アクーン・ジョセフ・アクーン・アクーン/
400 m・400 mハードル

東京2020オリンピック・パラリンピック
夢の舞台へ

関スポーツ課 ☎027-898-6005

いよいよ、今月から東京2020オリンピック(33競技、339種目)・パラリンピック(22競技、539種目)が開催されます。

1964年に開催された東京オリンピック(第18回オリンピック競技大会)は10月10日に国立競技場で実施された開会式で幕を開けて、24日までの15日間開催されました。アジア初のオリンピックとして、20競技163種目に、93の国と地域から5,152人が参加。この大会をきっかけに日本は都市機能が飛躍的に発展し、高度経済成長期を迎え、世界に向けて戦後の復興をアピールしました。

それから57年後の今大会、当初の予定から1年越しのオリンピック・パラリンピックが幕を開けます。

南スーダン選手団の長期キャンプ

おとしし11月から、南スーダンのスポーツを通じた平和促進のための支援策の一環として、長期キャンプの受け入れをしています。

南スーダン陸上競技選手団は王山運動場で市内通訳ボランティアや市内陸上競技の指導者と東京2020オリンピック・パラリンピックに出場するための練習をしてきました。また、練習が休みの日には、スポーツを通じた交流を実施。平和を考えるためのきっかけとなりました。